

**【感想】** 今回、京土会の援助をいただき、インドネシア共和国スラウェシ島マカッサルに2017年9月10日から17日まで滞在し KiDS (Kyoto University Disaster Prevention School) の活動に参加いたしました。感謝申し上げます。

この活動は今年で13年目となり、地震による災害が多い地域において小学校数校を訪問して防災教育をし、現地の大学や政府関連機関との国際ネットワークを構築するといったことを毎年行っています。今年度は7校の小学校を訪問しました。小学校ではインドネシア語による簡単な劇をして地震のメカニズムの説明を行い、津波の映像を見せた後、グループワークを通して防災に対する意識の向上を促進しました。またこうした学校防災教育の普及を経て、コミュニティ全体に災害から身を守るための知識を広めていくことを最大の目的と位置付け活動しました。今年度の活動には京都大学のインドネシア人3名と日本人5名が参加し、清野教授や現地のハサヌディン大学の学生の協力のもと行いました。私にとって初めての海外での活動でしたが、現地の方々の温かさ、小学生の元気さに触れこの国にもっと貢献したいという思いが芽生えました。改めて今回の活動を支援していただきありがとうございました。